

Photo

島根半島の海岸に生息する甲虫類 (13) アカウミベハネカクシ

林 成 多

ホシザキグリーン財団, 〒691-0076 島根県出雲市園町沖の島 1659-5

アカウミベハネカクシ *Cafius rufescens* (Sharp) は, 体長 4.8-5.0 mm ほどのハネカクシ科に属する海岸性甲虫で, 国内では北海道から九州まで広く分布し, 隠岐にも記録がある (柴田, 1985, 1993). 島根半島の海岸では, 日本海に面した砂浜や中海・宍道湖の湖岸で確認されている (河上・林, 2007).



写真 砂の上を歩くアカウミベハネカクシ

2006 年 4 月 17 日 11 時 44 分, 出雲市大社町の神戸川河口にて撮影. 砂浜に漂着した海藻の下から掘り出した個体. 本種は全体に赤褐色を帯びており, 他の *Cafius* 属の海岸性ハネカクシとは, 体色と体長から容易に区別できる.

[文献] 河上康子・林 成多 (2007) 日本海沿岸の海岸性甲虫類の研究 (2) 島根半島. ホシザキグリーン財団研究報告, (10). 印刷中.

柴田泰利 (1985) ハネカクシ亜科. 上野俊一ほか編「原色日本甲虫図鑑 II」: 290-310, pl. 51-54. 保育社.

柴田泰利 (1993) 海浜のハネカクシ. 昆虫と自然, 28(11): 23-27.